

こちら校長室

こころ
心

令和5年度



令和6年 2月 19日

京都市立修学院小学校

校長 鎌田 賢二

TEL : 075-781-4439

目を輝かせ 今を大切に生きる子

～しなやかに 夢中に 安心安全に～

修学院に笑顔をふやす言葉かけ

最近、保護者の方にも地域の方にも「この通信を読んでいます」と声をかけていただく機会があり、嬉しい気持ちとともに、改めて発信についての影響力を考え、引き締まる場所もあります。応援や励ましの言葉によってこの通信を発信することへの意味づけができたように思います。「教育現場や私の周りで何があって、どう受け取って、何を考え、どのように発信するか」そういったことを考えながら今後も発信していきたいなと思っております。

さて、立春が過ぎ、心新たにスタートをしています。その中で、この2週間ぐらいの間にいろんな方（保護者や地域の方）とお話する中で、全てに共通する大事なことを受け取る場面がありました。その一つが「言葉の大切さ」です。言葉というのは、時には人を傷つけたり、刃になって襲いかかったりすることもある一方、勇気づけられたり、感動させられたり、励まされたりすることもあります。どちらも言葉によっての作用です。何が申し上げたいのかというと人は言葉で立ち直ることも、前向きになることもできるということです。どうしても我々は物事のマイナス面にフォーカスしてしまうことが多いのですが、もっと日常的にプラス面に目を向けていくことができないものかと考えています。不平不満、愚痴泣き言を言いながらその世界を自分でつくってしまっていることを反省しながらの毎日ですが、相手を勇気づけたり、感動させたり、励ましや応援をしたり、人を幸せに自分も幸せになるような言葉を使おうと思っています。以前紹介した「ペップトーク」と同じですね。

私自身、今でも言葉によって傷つくことがないわけではありません。ただ受け止め方は以前に比べて受け流せるようになったり、見方考え方を変えて受け止められるようになったり幅は生きていく中で、広がっていったるなと思います。その中でも褒められたり、認めてもらったり、応援してもらったりなど嬉しい言葉をかけてもらうことで勇気が湧き、やる気になることが未だに変わらずあります。自分自身も意識しながら、誰も幸せにならない言葉の発信には十分気をつけ、プラスの変換をして発信の度に笑顔を増やしたいと思います。

2月の修学院小学校の「なかよしの日」は感謝がテーマです。「ありがとう」という言葉にはパワーがあります。20日～22日の間に最終の参観懇談会と造形展があります。是非今年度の集大成として地域や保護者の方にも「ありがとう」を発信したり、「ありがとう」が集まったりするような場になればと思っています。（学級閉鎖等でご迷惑をおかけしているところもありますが…）是非とも足を運んでいただけると幸いです。今週は6年生と感謝についての授業をします。子どもたちはどんな感謝の言葉の力を見つけ出すのか…。次回の心で発信できたらと思います。

「ありがとう」にはどんな力があると思いますか？